

佐伯市の平成 21 年度決算をお知らせします。

財政課財政係

はじめに

平成 21 年度の本市の決算がまとまりました。皆さまから納めていただいた税金や、国・県からの補助金等がどのように使われたかをお知らせします。

本市では、行財政改革推進プランに基づき財政の健全化を目指していますが、平成 21 年度決算においてもその成果が表れています。平成 21 年度は第 1 期行財政推進改革プランの最終年度でしたが、第 1 期プランで掲げた基本的方針（「平成 21 年度末の取崩し型の基金残高を 20 億円以上保有する」「平成 21 年度末の職員数を 1,100 人以下とする」）を達成することができました。

しかし、昨今の経済不況に伴い、市税収入は減少し、地域経済対策のための臨時的措置としての公共事業実施等により投資的経費の比率が高くなっています。また、扶助費（社会保障上の経費）も依然として増加傾向にあります。

今後も、第 2 期の行財政改革推進プランに基づき、経費節減・適正な予算執行を心がけ、最小の経費で最大の効果を出すよう一層の努力が必要であると認識しています。

※以下は、主に佐伯市監査委員による「佐伯市歳入歳出決算及び基金の運用状況を示す書類の審査意見書」からの抜粋により作成しています。